



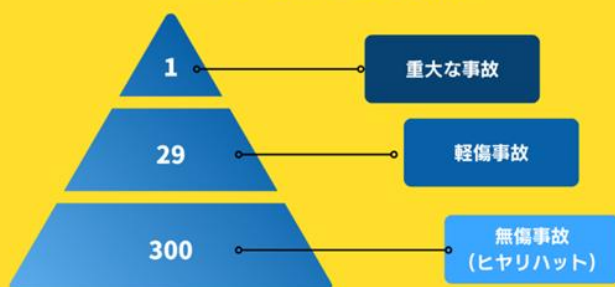
「ヒヤリハット」をご存じでしょうか？



ヒヤリハットとは、一步間違えれば大事故に繋がった可能性があった出来事のことを指します。つまり「ひやり」としたり、「はっ」とした出来事のことをいいます。

起きてしまった事故は氷山の一角で、「1件の事故には、29件の軽微な事故があり、更にその背後には300件の異常(ヒヤリハット)が存在する」といわれています。「大事に至らなくてよかった」ではなく、「今後、大事故に繋がるかもしれない」と考えて防止策を講じることが重要となります。ヒヤリハットの報告件数が多いほど、リスクを可視化し安全に取り組んでいるという指標にもなります。

ハインリッヒの法則



終礼時にヒヤリハットの報告書の情報共有をします。

当デイケアではリハビリの効果を上げるために、「家では安全のために杖を使っているが、デイケア利用中は杖を使わずに歩く」等、ご利用時には最大の能力で過ごしていただいております。そのため、転倒などの事故に繋がらないよう対策を立てています。

具体的な個別対策はもちろん行っておりますが、このヒヤリハットについては十分な情報共有ができておらず、報告件数もほとんどありませんでした。そこで今年は、ヒヤリハットの件数を増やし情報共有をできるようにするための、対策チームを組みました。今年度の4、5月時点で8件の報告がされ全職員に情報共有をしています。年間目標の60件にはまだほど遠いので、職員同士で声掛けをしながら目標を達成したいと思います。そのほかの安全対策も継続し、ご利用の皆様が安心してリハビリが出来るよう努めて参ります。私自身は、そそっかしいところもあり、「ひやり」とすることも多いので、年間30件は報告したいと思います。

■ 医療法人 関越中央病院

入院だけでなく外来リハにも対応しております。
主治医にご相談ください。

▶ 施設基準

心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ
脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ
廃用症候群リハビリテーション料Ⅰ
運動器リハビリテーション料Ⅰ
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
がん患者リハビリテーション料
摂食機能療法



病院リハ部門 主任
丸山あすみ 田口裕一

心臓リハ部門 主任
松下知史 津久井亮

■ 通所リハビリテーション関越中央

1～2時間の短時間通所リハ、6～7時間の長時間
通所リハを行っております。
相談員業務をリハ職が行うことにより、利用者様
に合わせた最適なプランを提案させていただきます。

■ 訪問リハビリテーション関越中央

病院で急性期リハを学んだ職員が対応することで、
心臓・呼吸に問題のある利用者様も安心してご利用
頂けます。



介護リハ部門 主任
狩野和子 津久井亮

空き状況	月	火	水	木	金
短時間型通所リハ 1クール 9:00～10:15	○	○	○	○	△
短時間型通所リハ 2クール 10:30～11:45	△	△	○	△	△
長時間型通所リハ 9:00～15:15	○	△	○	○	○
訪問リハビリ 13:00～17:00	○	○	○	○	△

○：受け入れ可能 △：要相談 × 受入困難

〒370-3513 群馬県高崎市北原町71

TEL：027-373-5115（代）FAX：027-372-2829

アドレス：reha@kan-etsu-hospital.com

ひとことコラム 第70回

「“いつの間にか脱水”に気をつけて！」



暑い季節になってきましたが、皆様は水分補給はしっかりと行なっていますか？患者様や利用者様でよく聞くのは、「トイレに行きたくなくなっちゃうから水分をあまりとらないようにしている」、「汗かいてないから、全然喉も乾かない」という声です。しかしこの季節は、特に大変危険な考えです。体の水分は一日にたくさん排出されています。主に排尿が想像しやすいと思われます。尿の排出は、一日に体重1kgあたり24mlです。一方、「不感蒸泄」という物もあります。一日に皮膚や呼吸で自然に蒸発していく水分を指します。これは室温や体温にも影響を受けますが、大体一日あたり体重1kgに対し15ml喪失します。これを体重50kgの人に換算すれば、尿から1200ml、不感蒸泄から750mlなので、一日に2000ml程失われることとなります。500mlペットボトルなら4本分となります。意外と多いと思いませんか？食事3食で1L程水分が含まれるそうなので、医師から水分制限の指示を受けていなければ、最低でも、一日にペットボトル2本分は、水分を取ることが脱水予防に必要なようです。